

令和3年度 長崎県立中五島高等学校 学校関係者評価 報告

1. 評価の実施期日・場所

日 時：令和4年2月15日（火） 14：30～15：50

場 所：中五島高等学校 校長室

方 法：学校評議員会及びアンケート

2. 学校関係者評価委員（学校評議員と兼務）

番号	職業等
1	元本校PTA 副会長
2	自営業
3	本校同窓会役員
4	自営業

※外部評価・自己評価の説明をもとに、日頃の学校の取組などを客観的に評価いただいた。

3. 学校関係者の評価

※評価 4：良く当てはまる 3：やや当てはまる 2：あまり当てはまらない 1：全く当てはまらない

設 問	4	3	2	1
① 学校の教育方針が保護者や地域にわかりやすく説明されている。	2名	2名	0	0
② 生徒たちは本校での学校生活に満足し、部活動や学習を頑張っている。	3名	1名	0	0
③ 保護者や地域からの問い合わせ等に対して教職員は誠実な対応をしている。	2名	2名	0	0
④ 教職員は一人一人の生徒を大切にしている。	4名	0	0	0
⑤ 施設・設備は行き届いており生徒は快適・安全に学校生活を送れる環境となっている。	2名	2名	0	0
⑥ 本校はボランティア活動等も積極的である。	4名	0	0	0
⑦ 本校は保護者に授業や行事などの様々な教育活動への参加の呼びかけをしている。	1名	3名	0	0
⑧ 本校の進路指導は充実している。	4名	0	0	0
⑨ 本校の生徒指導は充実している。	3名	1名	0	0

〈具体的な提言〉

- ・少人数クラス及びコースの特徴を生かし、学習面においては習熟度別授業や放課後の個別指導を実施し、一人ひとりを大切にした指導を行っている。卒業後の進学や就職についても、きめ細かな指導で生徒の希望に沿った形で高い実績を収めた。今年度は国公立大学進学希望者が2名いたが、2名とも合格できた。先生方のご指導に感謝したい。また、就職決定率も100%であったが全7名中5名が県内、うち4名が島内と地元の未来に貢献してくれた。
- ・運動部は生徒数が減少している影響も大きいと思われるが今後も頑張ってほしい。昨年度立ち上げた総合文化部においては美術班の生徒が県で優秀賞を獲得するなど、着実に実績をあげている。

- ・一昨年度から始まった通級も指導が定着しつつある。地元の困りを抱えた生徒のきめ細やかな支援に心から感謝したい。
- ・コロナ禍で中止になる行事が多い中でも、島内インターンシップ、島内で働くことを考える会、職業人インタビュー、パブリックワーク、商品開発、販売実習等を工夫して実施し、新上五島町役場、島内の民間事業所等、地域の大人達と協働して地元の課題解決に向けたキャリア教育学習に意欲的に取り組んでいる。生徒達が各自の特性や得意分野を活かし、郷土愛を育みながら、地元貢献に尽力している姿は大変喜ばしい。
- ・模擬会社の取組が特に際立っており、その売り上げを用いての地元の子供向け絵本の制作と配布、町への寄付金など、生徒同士で話し合い頑張ってくれている。商業科閉科の後、ビジネスキャリアコースで取組を効果的に引き継いだのはよかった。
- ・パブリックワークも地元に着用しており、この研究を次の生徒にも引き継いでほしいというものがいくつもあるのでさらなる工夫をお願いしたい。
- ・学校評価においてはどの項目も高い数値を示している。学校の教育方針の周知についてはどちらかというと保護者にも頑張っていたきたい。意識を高めてもらえるように評議員も頑張りたい。
- ・志願者数増加のための取組については学校で努力してもらっているが、島外の私立高校等の部活動による勧誘が激しくなっていると聞いている。就職や進学した卒業生と在校生の交流やオンラインでの講演なども含め、今後も少しでも島内に留まってもらえるよう、町全体で情報共有を図り、島の子どもは島で育ててほしい。

4. 提言を受けて

- ・本校の教育方針の実践、パブリックワークやコース制、通級指導などの取組、個に応じた対応などは、地域や保護者の方々からも高い評価を受けているとお言葉をいただき励みとなった。
- ・助言のあった以前の卒業生とのオンライン交流は3月に実施することができ、大変好評であった。オンラインを用いた取組は次年度も可能な限り計画していきたい。
- ・今後も郷土愛育成を目的として中五島高校の様々な活動の発信、島内・県内就職の推進、各種地域行事への参加、町役場や民間事業者との積極的な交流を推進したいと思う。そして、将来新上五島町の中核で地元を支える人材の育成を目指していきたい。